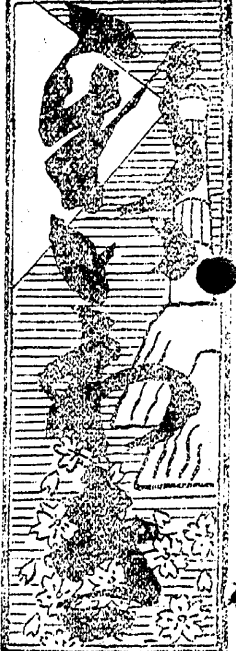


刊夕 日十二月四



休日 日曜祭日  
一月廿五日  
郵税十五錢  
廣告料 一行四〇錢  
場所指定 廿四日  
發行所 谷政  
新刊 谷政

### 開サの功を永遠に止む

## 今日記念碑の除幕式

### 馬も来ぬ昔をかたれ萩の花

平町菅の澤道路の開鑿功勞者  
を永遠に止むべく此の記念碑  
建設計畫は

同町木澤常松、浅井忠平、  
尾島藤輔、白土勝治、佐々  
木節次郎、住々木喜平、橋  
本午吉、菅野永太郎、佐藤  
繁次、永山富廣、大谷要次  
郎、白土正藏、小野定七、  
久保林之助、磯谷豊、永山  
和平、永山義太郎、會川延  
太郎、吉田春吉、青木榮  
吉、荒川恒次郎、遠藤忠治  
廿二氏の發起で關係部民から  
著替を募り豫定以上の寄附を  
得て廣谷小波氏の馬も来ぬ昔  
を語れ萩のはな句碑を添え愈  
よ竣工二十日前十時前記  
道路脇に適地を下した建碑除  
幕式を舉行した参列者は百餘  
名で右功勞者の内長生する吉  
村翁を除き縣社子嶽倉神社  
神職外二名の厳かな修被あり  
工事報告、來賓伏見平町長(左  
記)の外數氏の祝辭に對し山崎  
與三郎氏から先代に勞に酬へ  
られた禮を兼ねて當時の開鑿  
發起關係を代表する謝辭終つ  
て式を閉ち公園に祝賀會を  
開いて散會した

道路の便交通の利繋りて地  
方の福祉に關するや論なし  
産業之れに困りて興ひ民福  
之に困りて興る夫れ道路の

年九月竣工開通せる當時の祝  
辭文が神谷辰五郎氏方に現存  
する左記の如きもので相當の  
難工であつた事が窺はれる  
菅の澤開道祝辭(原文)

町古報治町の有志痛く之を  
憂ひ道路を開鑿して此の難  
を除かんとして工事設計資金  
調達具さに辛酸をなめ私財  
を投じ勞務を善し指撥經營  
三年有半にして道路の換線  
を告げ後郡道となし更に縣  
道に編入せられ今や重要路  
線として人馬の來復最も頻  
繁を極め優に自動車交通の  
便を見復時を知るもの隔世  
の感あるに至れり衆庶其便  
に浴し適近其徳を頌す  
昭和六年此の風の有志相謀  
り碑を建て功を勤し以後  
に下し篤志の義捐寄附に因  
り經營數月にして工を竣  
へ本日除幕式を舉る嗚呼  
感なるかな

石城郡中堅農講協會同窓會  
では今日二十日午前十時平町園  
休事務所樓上に總會を催し定  
刻開會國歌の合唱に次いで會  
歌の齊唱後新入會七十三名の  
報告終つて役員改選の結果左  
記を決定し向後の同選を會員  
の總投票により評議員の選  
任によるべく會則一部の変更  
を決議し本年度諸事業を打合  
せて顧問青山農藝技師、柴田  
技手から農事講演後産業博を  
見て散會した出席百六十名

本年年度事業の協議から  
役員の改選終つて講演

神谷農試場の  
特別傳習  
来る二十日  
石城郡神谷村の本縣農試場  
では今日二十日(舊十六日)午

便を感する皆人の知る  
古報治より宇久保町に遷  
するの舊道は僅々數町の距  
離にして險坂二ありて支へ  
其不便を感する數百越に於  
て此の菅の澤開鑿の舉ある  
所以なり夙に山崎與三郎氏  
其企圖を抱く實に十有餘年  
其當時の如き人情未だ過せ  
ず應ずるもの僅々にして素  
志を達せざりしに同氏等今  
茲に一層奮て昔年の宿志を  
果さんと欲し官に清願許可  
を得大に資財を抛ち又有志  
諸君の賛成を得多少の義捐  
金を得たるに由り郡長公  
關下戸長閣下の保護せらる  
により茲に初めて落成の典  
功を盡し今日開通の典  
を興ぐよつて聊か無辭を陳  
し以て祝す  
明治十八年九月廿二日  
杉の澤道路開鑿  
發起者總代

前九時から同場講義室に特別  
農事傳習會を開催を告である  
が本年度初めての同會でもあ  
る多量の來賓を歓迎すと因に  
除法同場長伊藤技師

本縣自動車協會に於ける昨十  
九日の總會は午前中降雨の爲  
めに花の平の紹介を妨げられ  
たが午後からの快晴で公園と  
きわの會宴な興を湧かし谷口  
樓に移つた懇親會の如き非常  
な盛況であつた尚ほ地元農業  
は外來者の歡迎と名譽紹介の  
意味で今日昨日の雨を忘  
れる好日和を午前九時お手の  
もの、自動車十數台を運んで  
新舞子に幸り遊覧船と白砂青  
松の散策に大油の勝を満喫し  
地曳網に獲たる鮮魚の料理で  
夕食を終へ自動車再び平町  
に引返し一同解散したが何れ  
も非常な満足であつた

何れか真やら  
本紙(俳句)を寄せて同好の興  
を迎へてゐる講義室主人は  
澤を抱へた平町の居宅に浮  
かれた花の酒を調きて獨酌に  
ほくそ笑んで居る由知る人の  
知らせを得た昨日俗務多忙閉  
居花に背くともして左記を  
己をうたふと云ふ事き疎く解  
立場に立つて觀察眼を鋭くし  
て自分は商人だから商業上  
の事はかりうたふ己は月給  
らば自然新らしく個性が現は  
れればならないのであります  
と事務の事はかりうたふと云  
ふのははりません自己をう  
たひ生活をうたふと云ふこと  
も廣い意味ですから自分が感  
じた事又自分の見たる世の人  
の姿が斯うと夫れ、獨特の  
時代にしても人によつて夫れ

元警女校長  
の  
出發  
来る二十日  
平後で東京へ  
警城高等女學校校長を退職した  
木村寅三氏は當分東京に自適  
すべく居を求めてゐたが本郷  
區菊坂町八二に宅を定め来る  
二十二日午前八時四十五分平  
澤發上り列車で家族一同出發  
請ふことになつてゐる、

久留島氏の  
滿蒙講演  
今日二十日午後六  
時平澤會講室で  
お伽講演で有名な久留島武彦  
氏は去る十八日來平昨十九日  
町内各小學校に於て滿蒙の實  
在に就ての講演あつたが平町  
教育會では今日二十日午後六時  
から平澤會講室に同氏の講演  
會を開催し一般の來賓を歡迎  
する筈で尙ほ来る二十二日は  
警城高女に於ても氏の講演を  
請ふことになつてゐる、

警女の校長は  
福島から  
正木貞二郎氏  
廿四日頃着任

山の花櫻  
平自動車當業が  
地元紹介に奮發  
お手の物の自動車で  
花の公園から新舞子

高女校長會  
来る二十五日  
警城高女校で  
縣下高等女學校校長會は来る二  
十五日午前十時から平澤會講  
高等女學校に於て開會事務そ  
の他に關する協議をなすと

答問或  
川柳には自己をうたひ生活を  
うたはねばなりません然し自

己をうたふと云ふ事き疎く解  
立場に立つて觀察眼を鋭くし  
て自分は商人だから商業上  
の事はかりうたふ己は月給  
らば自然新らしく個性が現は  
れればならないのであります  
と事務の事はかりうたふと云  
ふのははりません自己をう  
たひ生活をうたふと云ふこと  
も廣い意味ですから自分が感  
じた事又自分の見たる世の人  
の姿が斯うと夫れ、獨特の  
時代にしても人によつて夫れ

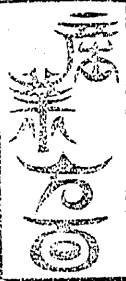
福島の校長は  
警女の校長は  
福島から  
正木貞二郎氏  
廿四日頃着任

山の花櫻  
平自動車當業が  
地元紹介に奮發  
お手の物の自動車で  
花の公園から新舞子

高女校長會  
来る二十五日  
警城高女校で  
縣下高等女學校校長會は来る二  
十五日午前十時から平澤會講  
高等女學校に於て開會事務そ  
の他に關する協議をなすと

答問或  
川柳には自己をうたひ生活を  
うたはねばなりません然し自

己をうたふと云ふ事き疎く解  
立場に立つて觀察眼を鋭くし  
て自分は商人だから商業上  
の事はかりうたふ己は月給  
らば自然新らしく個性が現は  
れればならないのであります  
と事務の事はかりうたふと云  
ふのははりません自己をう  
たひ生活をうたふと云ふこと  
も廣い意味ですから自分が感  
じた事又自分の見たる世の人  
の姿が斯うと夫れ、獨特の  
時代にしても人によつて夫れ



### 稲熟病の経過と病其の方除法

農試本場 伊藤技手

稻熟病の経年状況は前年に延べた如く室外よりは室内にまた同じ室内にありては温かき室内ほど越冬し易いことを知る、故に穂種及び葉に附着する病菌を処理することにより少くとも第一次発生を抑制することを務めるのである、次に稻熟を土中に埋没したる場合の菌糸の生活力に關し行びたる試験成績を示して見やう、

土壌中に埋藏せし被害葉の稻熟病菌糸の生活力(北海道大學農學部) 土壌表面に放置せるもの試験昭和二年十一月十五日、三五%、同三年五月三日〇%、 地下埋藏に埋藏せるもの昭和二年十一月十五日三〇%、同三年五月三日〇%、 地下五層に埋藏せるもの昭和二年十一月十五日三〇%、同三年五月三日〇%、 以上の成績を綜合するときは稻熟病菌は野外には殆んど越冬困難であつて始僅かに葉の内部のものに寄生したる菌糸のみ越冬するものであつて、葉に關しては此の點のみを充分に注意するときは越冬を防止することを務めることとなり従つて残りは穂種に附着して越冬する菌糸の撲滅を期し得るならば稻熟病の第一次の発生を防止することが出来るのである

淋病 梅毒 兒科 外科 内科  
**市原醫院**  
平町 電話一四一

屋間油 店商内關  
支店 郡山市 電話長八二三  
支店 茨城縣 電話長平七三三  
支店 關本縣 電話長平七三三  
支店 油槽所 出張所  
支店 平町四丁目 郵便局前

消化器 胃腸 嘔吐 腹痛 嘔吐 嘔吐  
地方代理店 平町 五丁目  
山野邊藥局  
特約店を募集す

内科 小兒科  
**大森醫院**  
平町南町  
醫學士 大森 勇  
電話二五八番

煙草の強 程の晒に露雨  
**朝日**  
石綿セメント製  
朝日煙草  
煙草は 朝日  
絕對に はばあいいい  
やくざあいいい  
経済的で 爽やかな心配がよい  
金屋商店

寫眞  
花と博覽會に  
御出での御記念  
お望みの背景にて  
御用命はゼヒ  
公園表坂の 三光館へ

式堂骨納 (碑 銅)  
高さ二尺以上 代價七十圓以上  
入院應需  
**明雲堂眼科醫院**  
平町前(電話六六九番)  
◆自炊の便あり

諸毒下しの大妙藥  
**安流丸**  
持約 山野邊藥局  
入院應需  
平町前(電話六六九番)

自慢の大蒲焼の外に江戸一流の職人を迎へ味と体裁の良し  
都壽司 始めました  
花見辨當 誠實、飽食、贈送  
壽司折詰 遠近に不拘迅速  
是非一度御試食願ひます  
うな 井金五十錢  
平、田町 魚 榮  
電話四二四番

外科 整形外科 醫學士 松永憲一  
産科、婦人科 院長 木村寅次郎  
平町新川町一九  
電話一四四番  
**木村病院**

皆様の  
**高橋時計店**  
平町搔槌小路二九  
(元は土橋通り精幸堂號)

ソレグフアンテン  
生ビール 開始  
ビンツメでありませぬ  
レストラン サロン  
電話三五二番

仲町に洋服店が出来ました  
工賃本位が弊店のモットー  
正確と 追従を許さぬ勉強  
迅速他の  
平町前(電話一五番地)  
最新流行 洋服調製  
**信夫屋洋服店**  
店主 齊藤 平一

債券、公債、兩替、金融  
**田多井質店**  
平町 大工町  
電話五九一番